

お宝拝見！ ⑤高等学部の池田多助先生



この写真と出会ったのは、神戸高校の資料室です。同校の100年史編纂責任者として携わっておられた永田實先生のご好意で拝見できました。同校（神戸一中）の校長であった祖父池田多助（1883-1964）のアルバムを叔母が寄贈したことで、同校の卒業生である父の写真が含まれていたことが、そもそものきっかけでした。

古いページをめくりますと、KWANSEIのロゴが入った野球部の選手たちのユニフォームが目にとまりました。選手たちの真ん中には丸高帽のベーツ先生が、右隣（向かって）に祖父が並んでいる記念写真です。そういえば、祖父が原田の森で教えていたとは聞いていたものの、写真で見るのは初めてだったので、この写真との出会いに感謝した瞬間でした。

そこで、この写真の鑑定をお願いしようと、啓明学院の尾崎八郎院長のご紹介で学院史編纂室の池田裕子さんに、そして校友課の宮脇貢課長のご紹介で米田満名誉教授にご覧いただいたところ、原田の森の学院校舎を背景に撮影されたものであることが確認されました。

また、図書館にある各年史を調べると、池田多助は、1915（大正4）年4月から1920（大正9）年までの間に高等学部の英語の教授として在籍し、野球部の創設にも関わりながら、啓明寮の舎監を勤め、1919（大正8）年には関西学院高等学部文科長に就任という記録がありました。

今からちょうど百年ほど前に、5年という短い間ではありましたが、図録『関西学院の100年』の分類によりますと、原田の森での「光の章」に祖父がいたこととなります。

当時は、英文学、ブラウニングの研究をしていたようですが、その後、大阪府立生野中学校の創設に関わり、また、戦前と戦中は母校の神戸一中の2代目校長として、戦後は甲南女子中学・高等学校校長と同短期大学学長を勤めておりました。

クリスチャンだったという祖父が、関西学院在籍中に洗礼を受けたのかどうかはわかりませんが、私の両親が神戸栄光教会で結婚式をあげたこと、祖父は神戸市灘区上野通に長く住んでいたことなど、漠然とした記憶と、この写真をつなぐ関係が見つからないままではありますが、今も残る関西学院の礎石に触れるたびに、原田の森を愛した祖父を思い出しております。

池田 浩（法学昭57 高等昭53）



池田退職時に贈られた蒔絵の箱(170x170x55)。蓋の裏に「贈 関西学院高等学部学生会」とある。池田浩さん所蔵。